

『ここまで進んだ！超伝導材料のマテリアル・アプリケーションデザイン』

昨今、計算機の高高速化や計算手法の向上に伴って、様々なマテリアルデザイン技術やアプリケーションデザイン技術が進展しています。超伝導においても、新物質探索やバルク応用に向けた磁場設計などが注目を集めています。第59回研究会では、超伝導材料のマテリアル・アプリケーションデザインをキーワードとして、強電応用、強磁場応用、NMR応用から物質探索まで多岐の分野に渡る最新技術について、最先端の研究に携わっている講師をお招きし、現状と将来への展開についてご講演頂きます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

- 主催：応用物理学会 超伝導分科会
- 協賛：日本物理学会、電気学会、低温工学・超電導学会、
日本磁気科学会、日本磁気学会
- 日時：2019年6月17日(月) 13:00 ~ 18:20
- 場所：応物会館 3階会議室

〒113-0031 東京都文京区根津1-21-5 応物会館
アクセス・地図：https://www.jsap.or.jp/about_jsap/office



参加申込みフォーム

プログラム (講演タイトルは仮題を含む)		
13:00~13:05	開会挨拶	超伝導分科会幹事長
13:05~13:55	REBCOバルク体の可能性 (基礎から応用)	村上 雅人 (芝浦工大)
13:55~14:25	バルク超伝導体による擬似永久磁石とその磁氣的性質	岡 徹雄 (芝浦工大)
14:25~14:55	超電導バルクを用いた新構造 NMR 磁石	伊藤 佳孝 (イムラ材研)
14:55~15:05 休憩		
15:05~15:35	QMG®の歴史と最近の応用研究	森田 充 (日本製鉄)
15:35~16:05	バルク超伝導体を用いた短周期アンジュレータ	紀井 俊輝 (京大)
16:05~16:35	着磁磁場よりも大きな磁場を持続的に発生できるハイブリッド型超電導バルク磁石レンズ(HTFML)の実現	藤代 博之 (岩手大)
16:35~16:45 休憩		
16:45~17:15	積層コーテッド・コンダクターによる強磁場捕捉	為ヶ井 強 (東大)
17:15~17:45	機械学習による物質探索	松本 要 (九工大)
17:45~18:15	マテリアルズ・インフォマティクスによる新規超伝導体の探索	高野 義彦 (NIMS)
18:15~18:20	閉会挨拶	超伝導分科会幹事

参加費 (当日受付、消費税込、資料代込み)：超伝導分科会会員 2,000 円、応用物理学会および協賛団体会員 3,000 円、非会員 4,000 円、学生 1,000 円

申し込み方法：(1)所属、(2)氏名、(3)連絡先(TEL, E-mail)、(4)会員種別を明記の上、6月10日(月)までに超伝導分科会 HP 内<<https://annex.jsap.or.jp/support/division/super/>>の研究会参加申込フォーム (上記のQRコード)、もしくは下記幹事宛に電子メールでお申し込み下さい。席に余裕がある場合は当日参加も受け付けますが、資料等の準備がありますのでなるべく期日までにお申し込み下さい。

申込・問合せ先：馬渡康徳 (産総研) TEL: 029-861-5737, e-mail: y.mawatari@aist.go.jp

一野祐亮 (名古屋大) TEL: 052-789-3908, e-mail: ichino@nuee.nagoya-u.ac.jp

荻野拓 (産総研) TEL: 029-861-4724, e-mail: h-ogino@aist.go.jp

堀出朋哉 (九州工大) TEL: 093-884-3377, e-mail: horide@post.matsc.kyutech.ac.jp